

様式第 1 1 号ア（専科指導優先実施教科に対応した小学校教員養成に係る特例に関する資料）

1. 地域における教員養成の状況・課題等

（教育委員会等からの要望や地域や学校における課題等を具体的に記載すること。）

本学では近隣の町田市、相模原市、川崎市、横浜市との教育実習協議会を毎年実施している。その協議の中で、教職課程の必修科目である 4 年次の「教育実習」に至るまでの間に、学校での現場体験を増やすことを要望されている。現場体験の機会を増やすことにより、学生にとっては教職への理解ならびに児童生徒との寄り添い方や、教師としての関わり方を深く学ぶことができるため、派遣可能な学校の拡大が課題となっている。

また、特別な支援を必要とする児童生徒への対応も求められているため、教職課程科目「特別支援教育」で学んだ内容をふまえ学校体験活動等で実践機会を増やしていくことも課題である。

さらに、学校現場では ICT への対応が必要とされているため、学生のうちに対応力を強化しておくことが求められている。

近隣の教育委員会（東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市等）から、小学校教員が不足している状況を伺っている。特に東京都小学校の採用試験倍率が 1.7 倍となる等、近隣の自治体が軒並み低倍率となっていることから深刻な状況が伺える。産休代替教員の確保が困難であることも、それに輪をかけている。

これらのことにより、本学では地域貢献の観点から質の高い小学校教員を養成する義務があると考えている。

2. 申請学科等における 1. の要望・課題等への対応

（上記要望・課題等に対し、申請学科等の教職課程がどのように対応できるのか具体的に記載すること。）

「教育の基礎的理解に関する科目」として設定している必修科目「学校体験活動 A（小学校・中学校）」により 1 年次から学校現場で学ぶ機会を設け、さらに 3 年次の「学校体験活動 B（小学校・中学校）」を経て、4 年次により質の高い「教育実習」を実施できる理論と実践の往還を繰り返す教職課程を編成した。

また、2 年次に特別支援学級を設置する小中学校での「介護等体験」に取り組むことにより、学校現場でニーズが増えている様々な支援が必要とされる場面への対応を可能とする実習として位置づけた。

ICT への対応については大学内で教職課程学生へ Google アカウントを配付し、教員採用対策講座や各教科の指導法等での ICT を使用した模擬授業の実践等につなげている。教員採用後に円滑に順応するために、Google Classroom を用いた学びの機会を創出して学生の対応力強化に努めている。

このような学校現場での学びと大学内の授業における学びの充実を図ったうえで、教員養成に取り組む大学として小学校教員が不足する近隣の自治体に貢献したいと考えている。例えば、高学年に導入される教科担任制への対応、外国語の授業対応に英語免許を併せ持つ教員の輩出、地域が望む SDGs への対応として理科に強い教員免許を併せ持つ教員を輩出する等である。

そのために、今回の専科指導優先実施教科に対応した小学校二種特例を申請し、小学校教員養成のための教職課程の設置を希望する。

3. 小学校教員の教職課程を設置するための指導体制等

（教員養成を主たる目的とした学科等以外の学科等で、小学校二種免許状の課程を設置するにあたり、その質を担保するための指導体制の在り方、科目開設上の工夫等を具体的に記載すること。）

今回の申請学科である英語教育学科、生産農学科、情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科、デザインサイエンス学科は中高免の教職課程の運営において各学科の教職担当教員を中心に指導体制を構築しており、小学校二種免許状の設置にあたって「教科の指導法」や「教育実習事前指導」において専門性を高めることのできる指導体制を構築している。

なお、小学校一種免許状の課程を開設する教育学部教育学科の教員＜教員養成を主たる目的とした学科の教員＞は、教職

課程科目の指導に長けているため、小学校二種免許状の教職課程の指導を行うにあたり、上記申請学科が教育学部教育学科教員と連携することで更に充実した全学的な指導体制を構築している。

また、全学的な組織体制も整備されており、実務家教員を多く採用している教師教育リサーチセンターが支援している。

科目の開設については、通常授業期間外の8～9月と2～3月に小学校の教科及び教科の指導法に関する科目等を集中的に開講し、主免許である中学校・高等学校免許取得にかかわる学修スケジュールを崩すことなく、学修の機会を提供する。

様式第11号イ

＜英語教育学科＞（認定課程：小二種免）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1セメスター	【教職の意義と基礎理論を学ぶ／英語科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校・中学校（公立学校）の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ直し、教員職が自分に向いているのか否かを確認することができる。 大学で求められるacademic Englishに慣れ、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校算数科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第2セメスター	【教職の意義と基礎理論を学ぶ／英語科の基礎を学ぶ】 学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 大学で求められるacademic Englishに習熟し、正確に、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校理科、図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
2年次	第3セメスター	【英語科教員になるための基礎を学ぶ】 介護等体験事前指導を通して、多様な人との対応力の必要性を理解し、5月～10月に実施する介護等体験の準備・心構えを培うことができる。介護等体験を通して、多様な人との対応力を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 英語力を高めることに加えて、グローバルな視点から英語圏の文化について理解し、英語を用いて発信することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第4セメスター	【英語科教員になるための基礎を学ぶ／英語や社会、文化などについての学びを深める】 2年次第4セメスターから3年次第5セメスターにかけての1年間の海外留学プログラムにおいて、実践的な語学力を身につけ英語の運用能力を高めることができる。 異文化への理解を深めて国際感覚を身につけることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメ スター	【英語科教員に必要な専門性と実践力を養う／英語や社会、文化などについての学びを一層深める】 2年次第4セメスターから3年次第5セメスターにかけての1年間の海外留学プログラムにおいて、実践的な語学力を身につけ英語の運用能力を高めることができる。 異文化への理解を深めて国際感覚を身につけることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第6 セメ スター	【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教育実習事前指導を通して、中学校英語科の教材研究、授業計画や指導案作成など、教育実習に行くための準備は何か理解でき、実行できる。 事前に実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るために必要な準備は何か理解し、そのための準備ができる。 英語科教育の内容、指導法、評価方法、学習指導要領の内容などの基礎的知識を修得し、説明できる。 英語科指導において、具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適した指導の工夫をすることができる。 小学校国語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導の基礎を学ぶ。
4年次	第7 セメ スター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 教育実習で指導されたことや気づいたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けて、自分の弱点を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に英語の楽しさをより効果的に体験させる授業指導案を作成し、実行することができる。
	第8 セメ スター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習（中学校・高等学校）」に加え、小学校での教育実習を行う「教育実習（副）」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを「教職実践演習」を通して振り返り、教員として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを総合的に捉えるとともに発展させ、生徒に英語の楽しさを伝えるだけでなく、英語と日々の生活に関連する国際社会を意識し、国際文化に親しむ態度を効果的に育めるような指導案を考え実践することができる。

様式第11号イ（小学校教諭）

＜英語教育学科＞（認定課程：小二種免）

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（小学校の課程のみ）	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	数学、理科、保健体育又は英語の科目
1年次	第1セメスター	教育原理	Basic Academic English Skills A		健康教育	音楽Ⅰ	
		教育方法・技術論			データ処理	生物学入門	English Phonetics
		ICT活用の理論と実践			ELF Communication for Teachers		
	第2セメスター	集中 算数科指導法					
		教職概論	Basic Academic English Skills B		日本国憲法	音楽Ⅱ	
		学校体験活動A（小学校・中学校）	English Grammar		体育	数学入門	
	集中	理科指導法					
		図工科指導法					
2年次	第3セメスター	英語科指導法Ⅰ	British and American Literature			健康スポーツ理論	Introduction to Language Studies
		学習・発達論					
		教育の制度と経営					
		総合的な学習の時間の理論と方法					
	集中	音楽科指導法					Introduction to Language Studies
3年次	第5セメスター						English in Global Contexts
							Multiculturalism in English-speaking Areas
	集中	社会科指導法					
	第6セメスター	教育相談の理論と方法				歴史（日本）	Special Studies in American Literature
		教育課程編成論					Issues in English Linguistics
		生徒・進路指導の理論と方法					Language and Society
		道徳教育の理論と方法					Language Testing
4年次	集中	国語科指導法					Teaching English to Children
		特別支援教育					
		特別活動の理論と方法					
	第7セメスター						
							Issues in Second Language Acquisition
							Issues in Applied Linguistics
							Speaking Workshop
							Special Studies in British Literature
	第8セメスター	教育実習（副）		全人教育論			Language through Contemporary English Literature
		教職実践演習					

様式第 1 1 号イ

＜生産農学科＞（認定課程：小二種免）

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1セメスター	【教職の意義を学ぶ／理科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校・中学校（公立学校）の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。 理科を理解するために必要な理論と観察や実験の基礎を身につけることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校算数教科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第2セメスター	【教職の基礎を学ぶ／理科の基礎を学ぶ】 参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ直し、教員職が自分に向いているか否かを確認することができる。その後学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 理科の基礎概念の正しい理解に基づく観察力、実験技術の修得ならびに現代社会における理科教育の活用について理解することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
2年次	第3セメスター	【教職の基礎を学ぶ／理科の基礎を学ぶ】 学習指導要領の理解・評価方法・学習指導方法などの基礎的知識を身につけることができる。 理科の基礎概念の正しい理解に基づく観察力、実験技術の修得ならびに現代社会における理科教育の活用について理解することができる。 介護等体験事前指導を通して、多様な人との対応力の必要性を理解し、心構えを培うことができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第4セメスター	【理科の指導法を学ぶ／理科の基礎を学ぶ】 学習指導案の作成や模擬授業を通じて、単元の要点や学習指導の方法等、理科の指導に必要な学習指導の技術を修得することができる。 第3セメスターに引き続き、理科の基礎概念の正しい理解に基づく観察力、実験技術の修得ならびに事象を科学的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験を通して、多様な人への対応を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校国語科、音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメス ター	【教職科目の専門性を養う／理科の専門性と応用力を養う】 教科外活動に関する理解・基礎的知識を習得し、実践することができる。 学校現場で重要視される理科的活動に対して、十分なスキルを身につけることができる
	第6 セメス ター	【教職専門科目の専門性と応用力を養う／理科の専門性と実践力を養う／学校現場における学びを行う】 教育実習事前指導を通して、理科の授業計画や学習指導案、教材研究に至るまでしっかりと教育実習に行くための準備ができる。 事前に数回の実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るための準備ができる。 具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適応した指導の工夫をすることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導力の基礎を学ぶ。 インターンシップによる学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
4年次	第7 セメス ター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、児童生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 また、教育実習で指導されたことや気付いたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けては、自分で弱点としている箇所を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に理科的活動を通してその楽しさや奥深さを実感できる教材準備ができる。
	第8 セメス ター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習(中学校・高等学校)」に加え小学校での教育実習を行う「教育実習(副)」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを「教職実践演習」を通して振り返り、教師として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に理科的活動を通して事象を科学的に考察し表現する力やそれらを活用して考えたり判断する力を指導できるようになる。

様式第11号イ（小学校教諭）

＜生産農学科＞（認定課程：小二種免）

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
年次	時期	各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（小学校の課程のみ）	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
1年次	第1 セメス ター	学習・発達論	基礎生物学実験		日本国憲法	音楽Ⅰ
		教育原理			健康教育	生物学入門
					ELF Communication for Teachers	
	集中	算数科指導法			データ処理	
	第2 セメス ター	教職概論	基礎化学実験			音楽Ⅱ
		学校体験活動A（小学校・中学校）	化学B			数学入門
			生物学B			
	集中	図工科指導法				
2年次	第3 セメス ター	教育方法・技術論	物理学	全人教育論		健康スポーツ理論
		ICT活用の理論と実践				分析化学
		特別支援教育				
		特別活動の理論と方法				
		理科指導法Ⅰ				
	集中	社会科指導法				
	第4 セメス ター	教育の制度と経営	地学		体育	歴史（日本）
						分子生物学
						地学実験
						生物統計学B
						物理学実験
	集中	国語科指導法				生化学
		音楽科指導法				
3年次	第5 セメス ター	教育相談の理論と方法				
		教育課程編成論				
	第6 セメス ター	道徳教育の理論と方法	化学実験スキル			化学実験スキル
		総合的な学習の時間の理論と方法	動物行動学			動物行動学
		生徒・進路指導の理論と方法				
		学校体験活動B（小学校・中学校）				
	集中	外国語（英語）指導法				
4年次	第7 セメス ター		生物実験スキル			生物実験スキル
	第8 セメス ター	教育実習（副）				
		教職実践演習				

様式第 1 1 号イ

<情報通信工学科> (認定課程: 小二種免)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	第 1 セメスター	【教職の意義を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校・中学校(公立学校)の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。
	第 2 セメスター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ直し、教員職が自分に向いているか否かを確認することができる。その後学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに高度情報通信社会における数学教育の活用について理解することができる。
2 年次	第 3 セメスター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 数学科の指導に必要な学習指導要領の理解・評価方法・学習指導方法などの基礎的知識を身につけることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験事前指導を通して、多様な人への対応力の必要性を理解し、心構えを培うことができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第 4 セメスター	【指導法の基礎を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 学習指導案の作成や模擬授業を通じて、単元の要点や学習指導の方法等、数学科の指導に必要な学習指導の技術を修得することができる。 第3セメスターに引き続き、数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験を通して、多様な人への対応を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校理科、図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメ スター	【教職科目の専門性を養う／数学科の専門性と応用力を養う】 教科外活動に関する理解・基礎的知識を習得し、実践することができる。 学校現場で重要視される数学的活動に対して、十分なスキルを身につけることができる 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第6 セメ スター	【教科の専門性と実践力を養う／教職専門科目の専門性と応用力を養う／学校現場における学びを行う】 教育実習事前指導を通して、中学校数学の授業計画や学習指導案、教材研究に至るまでしっかりと教育実習に行くための準備ができる。 事前に数回の実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るための準備ができる。 数学教育において、具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適応した指導の工夫をすることができる。 インターンシップによる学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導力の基礎を学ぶ。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 国語科、英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
4年次	第7 セメ スター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 また、教育実習で指導されたことや気づいたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けては、自分で弱点としている箇所を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に数学的活動を通してその楽しさや数学の良さを実感できる教材準備ができる。
	第8 セメ スター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習（中学校・高等学校）」に加え小学校での教育実習を行う「教育実習（副）」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを教職実践演習を通して振り返り、教師として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に数学的活動を通して事象を数理的に考察し表現する力や、それらを活用して考えたり判断する力を指導できるようになる。

様式第11号イ（小学校教諭）

＜情報通信工学科＞（認定課程：小二種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等(小学校の課程のみ)	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	数学、理科、保健体育又は英語の科目
年次	時期						
1年次	第1 セメスター	教育原理			健康教育	音楽Ⅰ	
					ELF Communication for Teachers	生物学入門	
					データ処理		
					日本国憲法		
	第2 セメスター	教育方法・技術論	代数学Ⅰ		プログラミングⅠ	音楽Ⅱ	解析学Ⅰ
		ICT活用の理論と方法				数学入門	
		教職概論	プログラミングⅠ				
学校体験活動A(小学校・中学校)							
2年次	第3 セメスター	学習・発達論				健康スポーツ理論	解析学Ⅱ
		総合的な学習の時間の理論と方法					微分方程式Ⅰ
		数学科指導法Ⅰ					プログラミングⅡ
		特別活動の理論と方法	確率統計学Ⅰ				
	集中	音楽科指導法					
	第4 セメスター	教育の制度と経営	幾何学Ⅰ		体育		複素解析Ⅰ
							微分方程式Ⅱ
							確率統計学Ⅱ
							フーリエ解析
	集中	理科指導法					
		図工科指導法					
3年次	第5 セメスター	特別支援教育					複素解析Ⅱ
		教育課程編成論					数値解析プログラミング
		教育相談の理論と方法					データサイエンスⅠ
							代数学Ⅱ
	集中	社会科指導法					
	第6 セメスター	生徒・進路指導の理論と方法				歴史(日本)	データサイエンスⅡ
		道徳教育の理論と方法					
		学校体験活動B(小学校・中学校)					
集中	国語科指導法						
	外国語(英語)指導法						
4年次	第7 セメスター						幾何学Ⅱ
	第8 セメスター	教育実習(副)					ビッグデータ解析
		教職実践演習					

様式第 11 号イ

<ソフトウェアサイエンス学科> (認定課程: 小二種免)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	第 1 セメスター	【教職の意義を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校・中学校（公立学校）の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。 大学で学ぶ数学を理解するために必要な数学概念と数学演算の基礎を身につけることができる。
	第 2 セメスター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ、教員職が自分に向いているか否かを確認することができる。その後学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに高度情報通信社会における数学教育の活用について理解することができる。
2 年次	第 3 セメスター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 数学科の指導に必要な学習指導要領の理解・評価方法・学習指導方法などの基礎的知識を身につけることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験事前指導を通して、多様な人への対応力の必要性を理解し、心構えを培うことができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第 4 セメスター	【指導法の基礎を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 学習指導案の作成や模擬授業を通じて、単元の要点や学習指導の方法等、数学科の指導に必要な学習指導の技術を修得することができる。 第3セメスターに引き続き、数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験を通して、多様な人への対応を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校理科、図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメ スター	【教職科目の専門性を養う／数学科の専門性と応用力を養う】 教科外活動に関する理解・基礎的知識を習得し、実践することができる。 学校現場で重要視される数学的活動に対して、十分なスキルを身につけることができる 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第6 セメ スター	【教科の専門性と実践力を養う／教職専門科目の専門性と応用力を養う／学校現場における学びを行う】 教育実習事前指導を通して、中学校数学の授業計画や学習指導案、教材研究に至るまでしっかりと教育実習に行くための準備ができる。 事前に数回の実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るための準備ができる。 数学教育において、具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適応した指導の工夫をすることができる。 インターンシップによる学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導力の基礎を学ぶ。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 国語科、英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
4年次	第7 セメ スター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 また、教育実習で指導されたことや気付いたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けては、自分で弱点としている箇所を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、児童生徒に数学的活動を通してその楽しさや数学の良さを実感できる教材準備ができる。
	第8 セメ スター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習（中学校・高等学校）」に加え小学校での教育実習を行う「教育実習（副）」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを「教職実践演習」を通して振り返り、教師として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、児童生徒に数学的活動を通して事象を数理的に考察し表現する力やそれらを活用して考えたり判断する力を指導できるようになる。

様式第 1 1 号イ（小学校教諭）

<ソフトウェアサイエンス学科>（認定課程：小二種免）

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（小学校の課程のみ）	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	数学、理科、保健体育又は英語の科目
1年次	第1セメスター		プログラミングⅠ		ELF Communication for Teachers	音楽Ⅰ	
					情報科学入門	生物学入門	
					健康教育		
	第2セメスター	教職概論			日本国憲法	音楽Ⅱ	プログラミングⅡ
		学校体験活動A（小学校・中学校）	代数学Ⅰ			数学入門	解析学Ⅰ
2年次	第3セメスター	数学科指導法Ⅰ	確率統計学Ⅰ	全人教育論	ネットワーク入門	健康スポーツ理論	解析学Ⅱ
							フーリエ解析
	集中	音楽科指導法					
	第4セメスター	教育原理	幾何学Ⅰ		体育		微分方程式Ⅱ
		学習・発達論					複素解析Ⅰ
		教育方法・技術論					アルゴリズムとデータ構造
		ICT活用の理論と実践					確率統計学Ⅱ
	集中	理科指導法					
		図工科指導法					
3年次	第5セメスター	総合的な学習の時間の理論と方法					複素解析Ⅱ
		教育相談の理論と方法					代数学Ⅱ
		教育課程編成論					
		特別活動の理論と方法					
	集中	社会科指導法					
	第6セメスター	教育の制度と経営				歴史（日本）	
		生徒・進路指導の理論と方法					
		道徳教育の理論と方法					
		学校体験活動B（小学校・中学校）					
	集中	国語科指導法					
		外国語（英語）指導法					
4年次	第7セメスター	特別支援教育					数値解析プログラミング
							幾何学Ⅱ
	第8セメスター	教育実習（副）					
		教職実践演習					

様式第11号イ

＜マネジメントサイエンス学科＞（認定課程：小二種免）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1 セメス ター	【教職の意義を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校、中学校（公立学校）の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。 大学で学ぶ数学を理解するために必要な数学概念と数学演算の基礎を身につけることができる。
	第2 セメス ター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ直し、教員職が自分に向いているか否かを確認することができる。その後学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに高度情報通信社会における数学教育の活用について理解することができる。
2年次	第3 セメス ター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 数学科の指導に必要な学習指導要領の理解・評価方法・学習指導方法などの基礎的知識を身につけることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験事前指導を通して、多様な人への対応力の必要性を理解し、心構えを培うことができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第4 セメス ター	【指導法の基礎を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 学習指導案の作成や模擬授業を通じて、単元の要点や学習指導の方法等、数学科の指導に必要な学習指導の技術を修得することができる。 第3セメスターに引き続き、数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験を通して、多様な人への対応を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校理科、図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメ スター	【教職科目の専門性を養う／数学科の専門性と応用力を養う】 教科外活動に関する理解・基礎的知識を習得し、実践することができる。 学校現場で重要視される数学的活動に対して、十分なスキルを身につけることができる 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第6 セメ スター	【教科の専門性と実践力を養う／教職専門科目の専門性と応用力を養う／学校現場における学びを行う】 教育実習事前指導を通して、中学校数学の授業計画や学習指導案、教材研究に至るまでしっかりと教育実習に行くための準備ができる。 事前に数回の実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るための準備ができる。 数学教育において、具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適応した指導の工夫をすることができる。 インターンシップによる学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導力の基礎を学ぶ。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 国語科、英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
4年次	第7 セメ スター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 また、教育実習で指導されたことや気づいたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けては、自分で弱点としている箇所を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、児童生徒に数学的活動を通してその楽しさや数学の良さを実感できる教材準備ができる。
	第8 セメ スター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習（中学校・高等学校）」に加え小学校での教育実習を行う「教育実習（副）」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを「教職実践演習」を通して振り返り、教師として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、児童生徒に数学的活動を通して事象を数理的に考察し表現する力やそれらを活用して考えたり判断する力を指導できるようになる。

様式第11号イ（小学校教諭）

＜マネジメントサイエンス学科＞（認定課程：小二種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等(小学校の課程のみ)	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	数学、理科、保健体育又は英語の科目
1年次	第1セメスター	総合的な学習の時間の理論と方法			日本国憲法	音楽Ⅰ	
					健康教育	生物学入門	
					ELF Communication for Teachers		
	第2セメスター	教育方法・技術論	代数学Ⅰ			音楽Ⅱ	解析学Ⅰ
		ICT活用の理論と実践				数学入門	
		教職概論					
		学校体験活動A(小学校・中学校)					
2年次	第3セメスター	数学科指導法Ⅰ		全人教育論		健康スポーツ理論	解析学Ⅱ
		教育原理					微分方程式Ⅰ
		特別支援教育					
		特別活動の理論と方法					
	集中	音楽科指導法			体育		
	第4セメスター	学習・発達論	幾何学Ⅰ				微分方程式Ⅱ
		教育の制度と経営	プログラミングⅠ				
		道德教育の理論と方法					
	集中	理科指導法					
		図工科指導法					
3年次	第5セメスター	教育相談の理論と方法	確率統計学Ⅰ				代数学Ⅱ
		教育課程編成論					プログラミングⅡ
	集中	社会科指導法					
	第6セメスター	生徒・進路指導の理論と方法				歴史(日本)	代数学Ⅲ
							複素解析Ⅰ
		学校体験活動B(小学校・中学校)					確率統計学Ⅱ
	集中	国語科指導法					
		外国語(英語)指導法					
4年次	第7セメスター						幾何学Ⅱ
							ベクトル解析
							複素解析Ⅱ
	第8セメスター	教育実習(副)					幾何学Ⅲ
		教職実践演習					オペレーションズリサーチ

様式第11号イ

<デザインサイエンス学科> (認定課程: 小二種免)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1 セメス ター	【教職の意義を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 教職課程とは何かを理解し、教員の仕事・職務内容を確認することができる。小学校・中学校(公立学校)の教員職に就くためには卒業までに何をしなければならないのかを理解し、自分で計画を立てて実践することができる。 大学で学ぶ数学を理解するために必要な数学概念と数学演算の基礎を身につけることができる。
	第2 セメス ター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 参観実習を通して、教員としての目線からもう一度学校を見つめ直し、教員職が自分に向いているか否かを確認することができる。その後学校体験活動等の学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに高度情報通信社会における数学教育の活用について理解することができる。
2年次	第3 セメス ター	【教職の基礎理論を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 数学科の指導に必要な学習指導要領の理解・評価方法・学習指導方法などの基礎的知識を身につけることができる。 数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験事前指導を通して、多様な人への対応力の必要性を理解し、心構えを培うことができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校音楽科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第4 セメス ター	【指導法の基礎を学ぶ／数学科の基礎を学ぶ】 学習指導案の作成や模擬授業を通じて、単元の要点や学習指導の方法等、数学科の指導で必要な学習指導の技術を修得することができる。 第3セメスターに引き続き、数学の基礎概念の正しい理解に基づく計算力、応用力の修得ならびに事象を数理的に考察する力を身につけることができる。 介護等体験を通して、多様な人への対応を実践し、教師として必要なことは何かを再発見することができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 小学校理科、図工科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。

3年次	第5 セメ スター	【教職科目の専門性を養う／数学科の専門性と応用力を養う】 教科外活動に関する理解・基礎的知識を習得し、実践することができる。 学校現場で重要視される数学的活動に対して、十分なスキルを身につけることができる 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 社会科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
	第6 セメ スター	【教科の専門性と実践力を養う／教職専門科目の専門性と応用力を養う／学校現場における学びを行う】 教育実習事前指導を通して、中学校数学の授業計画や学習指導案、教材研究に至るまでしっかりと教育実習に行くための準備ができる。 事前に数回の実習校訪問を行い、実習にスムーズに入るための準備ができる。 数学教育において、具体的な指導内容や方法・評価方法を想定し、学習指導案の作成や模擬授業の実施などを通して実践的な指導力を身につけ、生徒の実態や現代社会に適応した指導の工夫をすることができる。 「学校体験活動B」では、教育実習へつながる実践的指導力の基礎を学ぶ。 インターンシップによる学校現場体験を通して、自らの教員としての資質能力を鑑みることができる。 【指導法の基礎を学ぶ／教科・教職の専門性と実践力を養う】 教師として必要となる、一人ひとりを認める視点をもつことと、その人への対応のあり方を実践的に理解し、実行することができる。 国語科、英語科の基礎的・発展的な知識を礎に、各教科の学習指導要領の内容の理解・評価方法・学習指導方法などに気付き、指導法に関する基礎的知識を身につけることができる。
4年次	第7 セメ スター	【実践と応用】 実習中は常に「玉川教師訓」を意識し、礼儀やマナーを守り、生徒と積極的に交流し、指導教員を含む全ての学校教職員と協働することができる。 また、教育実習で指導されたことや気付いたことはしっかりと記録し、第8セメスターでの「教職実践演習」に活かすことができる。 教員採用候補者選考試験に向けては、自分で弱点としている箇所を徹底的に繰り返し学習し、集中して試験勉強に臨むことができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に数学的活動を通してその楽しさや数学の良さを実感できる教材準備ができる。
	第8 セメ スター	【総まとめ】 第7セメスターでの「教育実習（中学校・高等学校）」に加え小学校での教育実習を行う「教育実習（副）」を履修する。 これまでの教職課程で学んできたことを「教職実践演習」を通して振り返り、教師として不足している己の力を確認するとともに、課題を解決するための方策を見出し、実践することができる。 これまでの学修、実習を通して身につけたことを発展させ、生徒に数学的活動を通して事象を数理的に考察し表現する力やそれらを活用して考えたり判断する力を指導できるようになる。

様式第11号イ（小学校教諭）

<デザインサイエンス学科>（認定課程：小二種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
年次	時期	各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（小学校の課程のみ）	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	数学、理科、保健体育又は英語の科目
1年次	第1 セメスター	教育原理			日本国憲法	音楽Ⅰ	
		総合的な学習の時間の理論と方法			健康教育	生物学入門	
					ELF Communication for Teachers		
	第2 セメスター	教職概論	代数学Ⅰ			音楽Ⅱ	解析学Ⅰ
		教育方法・技術論				数学入門	
		ICT活用の理論と実践					
		学校体験活動A（小学校・中学校）	プログラミングⅠ				
2年次	第3 セメスター	数学科指導法Ⅰ	確率統計学Ⅰ	全人教育論		健康スポーツ理論	プログラミングⅡ
		学習・発達論					
	集中	音楽科指導法					
	第4 セメスター	教育の制度と経営	幾何学Ⅰ		体育		解析学Ⅱ
					情報科学入門		確率統計学Ⅱ
	集中	理科指導法					
		図工科指導法					
3年次	第5 セメスター	特別支援教育					複素解析Ⅰ
		教育課程編成論					代数学Ⅱ
		教育相談の理論と方法					
		特別活動の理論と方法					
	集中	社会科指導法					
	第6 セメスター	生徒・進路指導の理論と方法	管理会計			歴史（日本）	微分方程式Ⅱ
		道徳教育の理論と方法					複素解析Ⅱ
		学校体験活動B（小学校・中学校）					
4年次	集中	国語科指導法					
		外国語（英語）指導法					
	第7 セメスター						幾何学Ⅱ
							数値解析プログラミング
	第8 セメスター	教育実習（副）					ビッグデータ解析
		教職実践演習					